武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度１２月号
統括校長　井内　潔
令和７年１２月４日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

http://musashimurayama.ed.jp/mmced4s/

年越し・年明けの風景

小学部副校長　田村秀明

木の葉が舞う１２月になりました。子供たちは「心を一つに 最高のステージをつくろう」というテーマのもと、「さいかち発表会（学芸会）」の準備に取り組んできました。保護者鑑賞日には、たくさんの保護者や地域の皆様に、子供たちの一生懸命な姿を御覧いただきました。ありがとうございました。

さて、今年も早いもので師走を迎えました。年末は、いつの時代も私たちに独特の風景を見せてくれます。大人は、片付けなければならない仕事を抱えながら、毎年、年越しの準備を進めます。また、子供たちも家族の一員として大掃除を手伝い、その様子によっては家族に褒められたり、声をかけてもらったりしながら、年越しを体験します。

こうした年末の経験を通して、子供たちは親子の間で程よい距離感を身に付け、やがて社会の一員としての力を育んでいくのだと思います。

新聞記事や各種アンケートによると、「今年の年末年始の過ごし方」は「自宅でゆっくり過ごす」と答えた人が約９割に達し、最も多い傾向でした。意外だったのは、物価上昇の中でも約８割の方が「おせち料理」を購入する予定であるとのことです。これは、時間とお金の効率を重視する消費動向の現れなのだそうです。近年、おせち料理はとても高価です。今まで各家庭で作っていたおせち料理は買って食べるスタイルに変わりつつあるのかもしれませんが、おせち料理は日本の伝統的な食文化でもあります。この冬休みには、お子さんと一緒におせち料理を作ってみてはいかがでしょうか。一品だけでも、きっと記憶に残る価値ある体験になると思います。

年末年始は家族で過ごす時間が増え、お子さんと関わる機会が多くなる時期です。年越しの行事は、家族の絆を深める絶好の機会です。また、年明けには「明けましておめでとうございます。」と、声に出して新年を祝う、そんな温かい家族のやりとりがきっと各家庭で交わされることでしょう。

本年も残すところわずかとなりました。教職員一同、改めて教育の充実に努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。